

令和 2 年 度
(2020 年度)

決 算 審 査 意 見 書

浅川清流環境組合監査委員



浅川監第8号

令和3年(2021年)8月31日

浅川清流環境組合

管理者 大坪冬彦様

浅川清流環境組合監査委員 石田 等

浅川清流環境組合監査委員 渡辺 ふき子

令和2年度浅川清流環境組合決算審査意見について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第2項の規定に基づき、審査に付された令和2年度浅川清流環境組合決算を審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

第 1 審査の概要	-----	1
1 審査の種類	-----	1
2 審査の対象	-----	1
3 審査の期間	-----	1
4 審査の着眼点及び実施内容	-----	1
第 2 審査の結果	-----	2
1 総 括	-----	2
2 一般会計	-----	3
(1) 歳入決算状況	-----	3
① 款別歳入状況	-----	3
② 歳入決算状況の内訳	-----	4
(2) 歳出決算状況	-----	5
① 款別歳出状況	-----	5
② 歳出決算状況の内訳	-----	6
(3) 予算の流用状況	-----	7
3 財産に関する調書	-----	8
(1) 公有財産	-----	8
第 3 意見・要望等	-----	9

注 記

イ 文中に用いる金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。

そのため、合計等と符合しない場合がある。

ロ 比率（％）は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。

ハ 構成比率については、内訳の計が 1 0 0 . 0 % とならない場合がある。

令和2年度浅川清流環境組合決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定による審査

2 審査の対象

- (1) 令和2年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和2年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和2年度浅川清流環境組合一般会計実質収支に関する調書
- (4) 令和2年度浅川清流環境組合財産に関する調書

3 審査の期間

令和3年7月1日から令和3年8月31日まで

4 審査の着眼点及び実施内容

審査にあたっては、管理者から提出された一般会計決算書及び付属書類について、地方自治法等関係法令に準拠して調製されているかどうか、決算の計数は正確であるか否かを検証するとともに、予算は適正に執行されているかを主眼として、関係書類、帳票類と照合その他通常実施すべき審査手続きにより実施した。

なお、本審査は浅川清流環境組合監査基準に準拠し実施した。

第2 審査の結果

1 総括

令和2年度浅川清流環境組合一般会計の歳入歳出決算の総額は、表1に示すとおりである。

審査に付された一般会計の決算書及び決算付属書類は、地方自治法及び関係法令の規定に従い、会計原則にそって作成されている。総括的に予算の執行状況をみると、地方自治法及び関係法令等に基づき事務処理がなされ、概ね適正に執行されていることが認められた。

更にこれらの計数についても、関係諸帳票及び証書類と照合した結果いずれも符合し、また出納閉鎖日（令和3年5月31日）現在における令和2年度歳計剰余金と、指定金融機関が発行した証書類とを照合検算した結果、その金額は合致しており、当年度における決算を適正に表示しているものと認められた。

表1

令和2年度一般会計歳入歳出決算総括表

(単位：円：%)

予算現額	歳入		歳出		歳入歳出決算 差引残額	翌年度へ繰り越すべき財源			
	決算額	収入率	決算額	執行率		継続費通次 繰越額	繰越明許費 繰越額	事故繰越 繰越額	実質収支額
1,302,220,000	1,393,844,481	107.0	1,212,136,051	93.1	181,708,430	0	0	0	181,708,430

表2

款別歳入状況

款別	区分	令和2		
		予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)
1	分担金及び金 負担金	929,404,000	929,404,000	929,404,000
2	繰越金	74,677,000	74,676,988	74,676,988
3	諸収入	298,139,000	389,763,493	389,763,493
	国庫支出金	0	0	0
	組合債	0	0	0
	合計	1,302,220,000	1,393,844,481	1,393,844,481

2 一般会計

(1) 歳入決算状況

① 款別歳入状況

款別歳入状況の年度比較は、表2に示すとおりである。

歳入決算額は、13億9,384万4千円で前年度決算額126億237万8千円と比べ、112億853万4千円(88.9%)の減少となっている。予算額13億222万円に対しては、107.0%の収入率で前年度100.1%と比べ6.9ポイントの増加を示し、調定額13億9,384万4千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

年度比較表

(単位：円：%)

年 度		収 入 済 額 構 成 比	予算現 額対比 (C)/(A) ×100	調定額 対比 (C)/(B) ×100	令和元年度 収入済額 (D)	対 前 年 度	
不納欠損額	収入未済額					増減額(E) (C) - (D)	比率 (E)/(D)×100
0	0	66.7	100.0	100.0	1,399,942,000	△ 470,538,000	△ 33.6
0	0	5.4	100.0	100.0	36,219,163	38,457,825	106.2
0	0	28.0	130.7	100.0	3,169,119	386,594,374	12,198.8
0	0	-	-	-	2,447,048,000	△ 2,447,048,000	皆減
0	0	-	-	-	8,716,000,000	△ 8,716,000,000	皆減
0	0	100.0	107.0	100.0	12,602,378,282	△ 11,208,533,801	△ 88.9

② 歳入決算状況の内訳

1 分担金及び負担金

歳入決算額は、9億2,940万4千円で前年度決算額13億9,994万2千円と比べ、4億7,053万8千円(33.6%)の減少となっている。予算現額9億2,940万4千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額9億2,940万4千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

内訳は、組合構成市負担金で、事務経費負担金が6億2,940万4千円、周辺環境整備負担金が3億円となっている。

各市の負担額は、日野市が事務経費負担金として2億7,998万9千円、国分寺市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として3億2,949万3千円、小金井市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として3億1,992万2千円となっている。

2 繰越金

歳入決算額は、7,467万7千円で前年度決算額3,621万9千円と比べ、3,845万8千円(106.2%)の増加となっている。予算現額7,467万7千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額7,467万7千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

3 諸収入

歳入決算額は、3億8,976万3千円で前年度決算額316万9千円と比べ、3億8,659万4千円(12,198.8%)の増加となっている。予算現額2億9,813万9千円に対しては、130.7%の収入率で前年度100.9%と比べ29.8ポイントの増加を示し、調定額3億8,976万3千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

内訳は次のとおりである。

・預金利子

歳入決算額は、1万2千円で前年度決算額1万9千円と比べ、7千円(3

7.3%)の減少となっている。予算現額1千円に対しては、1,163.9%の収入率で前年度1,857.1%と比べ693.2ポイントの減少を示し、調定額1万2千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

・雑入

歳入決算額は、3億8,975万2千円で前年度決算額315万1千円と比べ、3億8,660万1千円(12,270.9%)の増加となっている。予算現額2億9,813万8千円に対しては、130.7%の収入率で前年度100.3%と比べ30.4ポイントの増加を示し、調定額3億8,975万2千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

4 国庫支出金

歳入決算額は、前年度決算額24億4,704万8千円と比べ、皆減となっている。

5 組合債

歳入決算額は、前年度決算額87億1,600万円と比べ、皆減となっている。

(2) 歳出決算状況

① 款別歳出状況

款別歳出状況の年度比較は、表3に示すとおりである。

歳出決算額は、12億1,213万6千円で前年度決算額125億2,770万1千円と比べ、113億1,556万5千円(90.3%)の減少となっている。予算現額13億222万円に対しては、93.1%の執行率で前年度99.5%と比べ6.4ポイントの減少を示している。

表 3

款別歳出状況 年度比較表

(単位：円：%)

区分 款別	令和2年度				令和元年度				対前年度	
	予算現額	決算額	執行率	決算額 構成比	予算現額	決算額	執行率	決算額 構成比	増減額	比率
1 議会費	5,909,000	4,277,036	72.4	0.4	5,858,000	4,828,758	82.4	0.0	△ 551,722	△ 11.4
2 総務費	548,871,000	516,568,038	94.1	42.6	809,184,000	793,300,147	98.0	6.3	△ 276,732,109	△ 34.9
3 事業費	697,077,000	676,471,940	97.0	55.8	11,753,785,000	11,728,463,110	99.8	93.6	△ 11,051,991,170	△ 94.2
4 公債費	32,154,000	14,819,037	46.1	1.2	9,769,000	1,109,279	11.4	0.0	13,709,758	1,235.9
5 予備費	18,209,000	0	0.0	0.0	12,972,000	0	0.0	0.0	0	0.0
合計	1,302,220,000	1,212,136,051	93.1	100.0	12,591,568,000	12,527,701,294	99.5	100.0	△ 11,315,565,243	△ 90.3

② 歳出決算状況の内訳

1 議会費

歳出決算額は、427万7千円で前年度決算額482万9千円と比べ、55万2千円（11.4%）の減少となっている。予算現額590万9千円に対しては、72.4%の執行率で前年度82.4%と比べ10.0ポイントの減少を示している。

2 総務費

歳出決算額は、5億1,656万8千円で前年度決算額7億9,330万円と比べ、2億7,673万2千円（34.9%）の減少となっている。予算現額5億4,887万1千円に対しては、94.1%の執行率で前年度98.0%と比べ3.9ポイントの減少を示している。

3 事業費

歳出決算額は、6億7,647万2千円で前年度決算額117億2,846万3千円と比べ、110億5,199万1千円（94.2%）の減少となっている。予算現額6億9,707万7千円に対しては、97.0%の執行率で前年度99.8%と比べ2.8ポイントの減少を示している。

4 公債費

歳出決算額は、1,481万9千円で前年度決算額110万9千円と比べ、1,371万円（1,235.9%）の増加となっている。予算現額3,215万4千円に対しては、46.1%の執行率で前年度11.4%と比べ34.7ポイントの増加を示している。

5 予備費

予備費については、当初予算額2,000万円に対し、1件179万1千円を充当した。充当状況は表4に示すとおりである。

表4

予備費充当状況表

(単位：円：件)

款	節	充当額	件数
3 事業費	18 負担金、補助及び交付金	1,791,000	1
合計		1,791,000	1

(3) 予算の流用状況

当年度予算の流用は、5件、127万9千円で前年度予算の流用3件、236万6千円と比較すると、件数では2件増加し、金額では108万7千円の減少となっている。流用状況は表5に示すとおりである。

表5

予算の流用状況表

(単位：円：件)

流用元

節 別	金額	件数	節 別	金額	件数
1 報酬			12 委託料		
2 給料			13 使用料及び賃借料	297,000	1
3 職員手当等	809,000	1	14 工事請負費		
4 共済費			15 原材料費		
5 災害補償費			17 備品購入費		
7 報償費			18 負担金、補助金及び交付金		
8 旅費			21 補償、賠償補填金		
9 交際費			22 償還金、利子料及び割引料		
10 需用費	173,000	3	26 公課費		
11 役務費			合計	1,279,000	5

流用先

(単位：円：件)

節 別	金額	件数	節 別	金額	件数
1 報酬	3,000	1	12 委託料	419,000	2
2 給料			13 使用料及び賃借料		
3 職員手当等			14 工事請負費		
4 共済費			15 原材料費		
5 災害補償費			17 備品購入費		
7 報償費	48,000	1	18 負担金、補助金及び交付金	809,000	1
8 旅費			21 補償、賠償補填金		
9 交際費			22 償還金、利子料及び割引料		
10 需用費			26 公課費		
11 役務費			合計	1,279,000	5

以上、本会計については、予算の目的に沿って概ね適正に執行されているものと認められた。

3 財産に関する調書

当年度末現在における財産に関する調書については、法令に準拠して作成されており、概ね適正に表示されているものと認められた。

当年度末現在における状況は、表6に示すとおりである。

表6 財産現在高一覧表

区 分		単位	令和2年度末 現 在 高	令和元年度末 現 在 高	増 減	
公 有 財 産	土 地 (地 積)	m ²	0.00	0.00	0.00	
	建 物	木 造 (延 面 積)	m ²	0.00	0.00	0.00
		非 木 造 (延 面 積)	m ²	14,998.20	14,998.20	0.00
		計	m ²	14,998.20	14,998.20	0.00
物 品	1 品 目 の 取 得 価 格 が 1 0 0 万 円 以 上 の も の	件	0	0	0	

(1) 公有財産

- ・ 土地及び建物

建 物

行政財産 14,998.20m²

第3 意見・要望等

浅川清流環境組合は、日野市、国分寺市、小金井市の3市により、ごみ処理施設の設置及び運営等を共同で行うことを目的として、平成27年7月1日に設立された一部事務組合である。

令和2年度は、組合設立6年目となり、新可燃ごみ処理施設の本格稼働が開始された。

歳出決算額は12億1,213万6千円で、前年度決算額125億2,770万1千円と比較すると113億1,556万5千円(90.3%)の大幅な減少となった。これは、令和元年度に新可燃ごみ処理施設建設工事が終了したことに伴い、令和元年度の新可燃ごみ処理施設建設工事費決算額115億6,234万7千円が令和2年度は皆減となったことが大きな要因となっている。

また、歳入決算額は13億9,384万4千円で、前年度決算額126億237万8千円と比較すると112億853万4千円(88.9%)の大幅な減少となっている。これも令和元年度の施設建設工事に伴う組合債や国庫支出金の皆減が大きな要因となっているが、令和2年度歳入決算額のうち、諸収入は令和元年度決算額と比較すると3億8,659万4千円(12,198.8%)増加した。これは、施設の本格稼働に伴い、諸収入のうち雑入の余剰電力売電料3億8,579万4千円が皆増となったことによるものである。

予算の執行管理については、概ね適正に処理されていた。

施設運営にあたっては、今後も3市の連携を密にするとともに、市民に対して積極的に情報発信を行い、周辺環境に配慮した安全・安心な施設運営に努められたい。